

えんとつ

～資源循環型社会を目指して～

3市共同資源化事業を進めています

1 不燃・粗大ごみ処理施設の更新に着手します

(1) 不燃・粗大ごみ及び粗大ごみ処理施設の状況について

小平市、東大和市及び武蔵村山市の3市の不燃ごみと粗大ごみについては、小平・村山・大和衛生組合（以下「組合」という）に設置された粗大ごみ処理施設において共同処理しており、今後も現状体制を継続していくこととしています。一方で、粗大ごみ処理施設については、施設の老朽化・旧式化が進んでいることから、早急に施設の整備・更新が必要です。このような状況から、平成26年11月に策定された3市共同資源化事業基本構想（以下「基本構想」という）では、不燃・粗大ごみ処理施設について整備・更新の計画に着手することとしています。

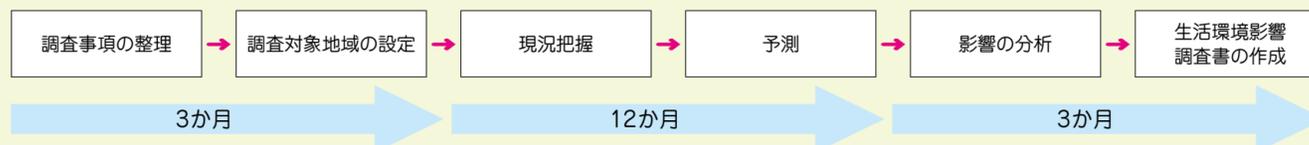
(2) 不燃・粗大ごみ処理施設の更新について

基本構想では、不燃・粗大ごみ処理施設については、平成27年度から施設整備基本計画の策定に着手します。粗大ごみ処理施設の更新等を行なう用地については、ごみ焼却施設に隣接し、破砕後の可燃ごみの運搬がスムーズに行えることなどから、3市と組合の4団体で確認している小平市清掃事務所周地とします。なお、小平市清掃事務所周地の活用にあたっては、現在、小平市清掃事務所で行なわれている事業や他の計画との調整や連携を図りながら手続きを進めていくものとします。具体的なスケジュールについては、表のとおりです。

区分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
調査・計画期間						
建設工事	設計期間					
	建設期間					
稼働						

2 3市共同資源物処理施設用地周辺の生活環境影響調査を実施します

3市共同資源物処理施設の設置にあたっては、地域ごとの生活環境に配慮したきめ細かな対策を検討した上で施設の計画を作り上げることから、計画の段階でその施設が周辺地域の生活環境に及ぼす影響をあらかじめ調査する、生活環境影響調査を3市共同資源物処理施設用地周辺（東大和市桜が丘2丁目122-2）において実施します。3市共同資源物処理施設については、平成27年度から平成28年度にかけて、生活環境影響調査を実施する予定であり、具体的には、以下の流れで行います。



※生活環境影響調査の流れのうち、現況把握までの手続きに着手します。生活環境影響調査の調査項目及び調査方法については、下記のとおりです。

<生活環境影響要因と生活環境影響調査項目>

調査事項	生活環境影響要因	施設の稼働	施設からの悪臭の漏洩	廃棄物運搬車両の走行
大気環境	生活環境影響調査項目			
	二酸化窒素(NO ₂)			調査①
	浮遊粒子状物質(SPM)			
	揮発性有機化合物(VOC)	調査②		
	騒音	騒音レベル	調査③	
振動	振動レベル			
悪臭	特定悪臭物質濃度及び臭気指数(臭気濃度)		調査⑤	
交通量	幹線道路(桜街道)及び接続道路の交通量			調査⑥

<生活環境影響調査の調査方法>

番号	調査地点	調査時期等
調査①	接続道路に面する敷地境界の1か所	冬期に1回、1週間
調査②	周辺の人及び商業施設等の位置4か所及び事業予定地1か所の計5か所	四季において、それぞれ1週間
調査③	敷地境界の東西南北の4か所	平日の1日間の測定とする。測定時間帯は、昼間2回、朝・夕各1回の計4回
調査④	接続道路1か所	平日の1日間の測定とする。測定時間帯は、昼間2回、朝・夕各1回の計4回を基本
調査⑤	敷地境界上のほか、大気質現地調査地点	夏期に1日(時間帯を代表できる数回)
調査⑥	接続道路1か所及びその他廃棄物運搬車両の走行が見込まれる道路4か所の計5か所	冬期に1回

※具体的な調査地点(場所)は、地域連絡協議会との協議のうえ、定めます。

⇒(小平・村山・大和衛生組合)既に、3市共同資源化事業基本構想を策定し、その中で、3市共同資源物処理施設や粗大ごみ処理施設の整備スケジュールを示して、説明している状況である。また、昨年、国に循環型社会形成推進交付金の申請をしているが、地域住民の方にきちんと説明し、スケジュールどおりに進めていきたいと考えている。また、3市共同資源物処理施設からVOC(揮発性有機化合物)が発生する恐れがあるため、東大和市桜が丘周辺地域の環境影響調査を実施する予定であり、中島町については、焼却施設の更新が決定次第、調査を実施することになると思われる。・空気は滞留して流れるわけであり、近くの中島町も影響があると思うが。

⇒(小平・村山・大和衛生組合)心配されるのは一番近隣であり、VOCの発生源近くと近隣を測定する予定であるが、どの程度発生するか、抑制可能かどうか等を試験したいと思う。

・このような建物が出立つとマイナスのイメージがあり、国に補助金の申請をしたからそのように進めるということではなく、お互いにこれからも話をしてもらいたい。

・小平市の戸別収集が遅れた理由は、東大和市の戸別収集を開始した理由は、⇒(小平市)容器包装プラスチックを資源化するための新たな資源物処理施設が整備されないことが大きな要因と考えている。まずは、資源化を進め、その後、戸別収集や有料化の施策を進めたいと考えている。現時点では、一人当たりのごみ量が皆さんの努力により年々減っている状況の中で、行政側から一方的に有料化という形で負担を押し付けるような施策は当面行わない方針で進めている。

⇒(東大和市)全てのごみを減量したいという考えが基本となっており、その施策として、有料化と戸別収集を実施したものである。戸別収集の実施により、排出者責任の向上も図られること、有料化の実施により、排出者間の負担の公平化が図られるということもある。

・小平市の有料化の時期は、⇒(小平市)一般廃棄物処理基本計画では、平成31年度以降に検討する予定である。

3 開会

報告 第12回 えんとつフェスティバル2014



開会式



ミニツアー



似顔絵



大声コンテスト



似顔絵



つなげよう資源の輪 広げよう地域の和をテーマにしたイベント「えんとつフェスティバル2014」が昨年の10月11日(土)に開催されました。当日は天候にも恵まれ、約5,000人の方が来場され、模擬店やフリーマーケットは多くの方で賑わい、清掃工場見学“えんとつミニツアー”や、地場野菜の販売、ごみ収集車

展示、大声コンテスト、よさこい、バンド演奏等が催されました。実行委員の方々には開催前から準備いただき、また、地域の皆様には、当日早朝からお手伝いいただいたことを御礼申し上げます。大変ありがとうございました。

足湯施設運営連絡会

足湯施設運営連絡会では、連絡協議会の代表者、足湯アダプトの推薦者、近隣住民の5名で構成されており、施設の管理運営に関すること、地域特性を生かした提案等を検討しております。

—平成26年度第1回足湯施設運営連絡会—

○開催 平成26年7月4日(木)

○議題

- 1 新委員への委嘱状の伝達
- 2 正副会長の選任について
- 3 足湯施設の運営について
 - (1) 足湯施設運営状況について(報告)
 - (2) 意見提案について
- 4 その他

(会議内容)
委員の改選に伴い、新たに委嘱状の伝達や正・副会長の選任を行った。その後、足湯施設の設置等の経緯、運営状況や、今年度の工事の予定等を説明し、質疑応答を行った。委員からは、足湯へお湯を送る配管工事についての質問や、足湯Cの橋を石にしたほうがいいとの意見・要望をいただいた。

—平成26年度第2回足湯施設運営連絡会—

○開催 平成27年3月2日(月)

○議題

- 1 足湯施設の運営について
 - (1) 足湯施設運営状況について(報告)
 - (2) 意見・提案について
- 2 その他

(会議内容)
足湯施設の運営状況、物品販売の許可状況、苦情対応、足湯アダプトの活動状況、取材の報告、灯りまつりへの参加協力等について説明し、質疑応答を行った。委員からは、足湯施設の1か所のみでの運転状況に関する質問や、防犯カメラの設置に関する要望をいただいた。

平成26年度第3回（第94回）連絡協議会（第3回えんとつフェスティバル実行委員会合同）

<p>日 時 平成26年9月24日（水）午後7時から午後8時</p> <p>場 所 小平・村山・大和衛生組合4・5号炉 3階 大会議室</p> <p>【第3回連絡協議会】</p> <p>1 あいさつ 連絡協議会 田口会長</p> <p>2 議題</p> <p>(1) 組織市、衛生組合からの連絡、報告</p> <p>①小平市</p> <ul style="list-style-type: none">9月13日（土）に、中央公園、総合体育館、ふれあい下水道館において、午前10時から午後2時まで（ふれあい下水道館は午後4時まで）、小平環境フェスティバルを下水道の日記念イベントと合同で実施した。当日は、天候に恵まれ、約4600名の方に来場いただき、フリーマーケットに37店、ステージに9団体参加いただき、有料粗大ごみの無料抽選配布、おもちゃの病院、エコドライブシミュレータ体験、ねずみ書虫等相談会、低公害車の展示・試乗、子ども木工教室、ソーラ工作、陶磁器のリサイクルを行い、使用済み小型電子機器の回収、災害用トイレシステムの展示、下水道マンホールのふたに富士山をデザインした写真展等が行われた。回収量であるが、陶磁器のリサイクルは約670キロ、使用済み小型電子機器は約42キロの回収が行われた。なお、陶磁器及び使用済み小型電子機器のリサイクルについては、時間及び場所を決定した拠点回収を年度内に3回実施予定であるが、事前に、日時等について市報等でお知らせするので、よろしく願いたい。 <p>②東大和市</p> <ul style="list-style-type: none">8月からの戸別収集に伴い、搬入時間の延長について願っていたところであるが、地域の皆様に御礼申し上げたい。今後、10月から指定収集袋による有料化を実施するわけであるが、今後の状況については、この場で報告していきたいと思う。 <p>③武蔵村山市</p> <ul style="list-style-type: none">10月から生ごみたい肥化モデル事業を、残堀・学園地区において、各50世帯実施する。年度末には、事業の状況を報告できると思うので、よろしく願いたい。 <p>④衛生組合（総務課）</p> <ul style="list-style-type: none">組合では、全国交通安全週間に合わせ、松の木通りで収集車両の安全監視活動を行った。職員が道路端に立ち、安全監視を行ったものである。 <p>(業務課)</p> <ul style="list-style-type: none">「平成26年度 焼却施設維持管理状況一覧表」について説明。 こまねびの足湯であるが、電気設備点検のため、9月27日（土）に休業する予定である。（計画課） 6月16日から7月15日までの期間で公募した3市共同資源化事業基本構想（案）に関するパブリックコメント（意見の公募）の結果と、修正内容について説明する。集計の結果、事業の進め方に関する内容が54件、施設の必要性が26件、施設の立地が24件、環境影響が24件、その他が51件の4分類、合計179件であった。そのうち、基本構想への一部反映が1件、事業を進めるうえでの参考とした内容が15件であった（パブリックコメントの内容について、資料に基づき説明）。 <ul style="list-style-type: none">基本構想については、ここで成案とし、今後、3市と組合は、この基本構想に基づいて、3市共同資源化に向けた事業を進めていく。具体的には、3市共同によりごみの減量施策を強化・拡充し、3市共同資源物処理施設の建設を前提として、搬入するごみ量の最小化を図ったうえで、粗大ごみ処理施設の設置場所として、足湯西側である小平市清掃事務所用地とすること、焼却施設の更新用地として現有用地を基本として、組合において検討し、提案図書を作成することを進めていくものである。両事業とも進捗状況に応じて、この協議会において説明し、協議をお願いしたいと考えているものである。	<ul style="list-style-type: none">パブリックコメントは小平市や武蔵村山市では行っていないのか。小平市の意見等の割合は。 ⇒（小平市）同時期に各市で行っており、当市の市民からいただいた意見等も含まれている。 ⇒（小平・村山・大和衛生組合）各市の内訳であるが、37名が東大和市、8名が小平市、2名が武蔵村山市、記載がない方が2名ということである。 ・小平市の8名の方の意見等が小平市を代表しているとは思わない。中島町の地区の方は、小平市の他の地区に比べ、この問題に非常に関心が高いので、小平市の住民の意見等を最初に取り上げていただきたい。 ⇒（小平・村山・大和衛生組合）中島町の施設に関することについては、最初に、この連絡協議会で説明していきたいと考えている。
<p>(2) 意見・要望について</p> <p>3 閉会</p> <p>一司会交代→</p> <p>【第3回えんとつフェスティバル実行委員会】</p> <p>1 竹内実行委員長あいさつ</p> <p>2 議題</p> <p>(1) フリーマーケットの抽選結果について（報告）</p> <p>抽選会は9月17日（水）に、竹内実行委員長、霜出顧問、横嶋総務部会長及び事務局で行った。応募数は、小平市26グループ、東大和16グループ、武蔵村山市16グループ、立川市16グループ、地域枠11グループの合計85グループで、地域枠については全員当選し、他の地域は応募数を比例按分した当選枠を設定し、29区画分を抽選した。抽選結果は、応募された方すべてに通知を発送予定である。</p> <p>(2) 各部会の企画について</p> <p>①総務部会</p> <ul style="list-style-type: none">ポスターの掲示を各公共機関及び各自治会へ掲示を依頼した。 舞台の製作状況、スケジュール、会場設営等の予定を説明した。 ・美大生の似顔絵は人数の確保を行っている。 <p>②イベント部会</p> <ul style="list-style-type: none">・ステージ予定（小平ジャグリングクラブ、クリーンハッチャーズ、よさこい等）を説明した。 ・イベント企画予定（清掃工場ミニツアー、クイズラリー、組合ブース、10t車の運転見学会、大声コンテスト、ぬり絵）について説明した。 <p>③模擬店部会</p> <ul style="list-style-type: none">・模擬店（焼きそば、やきとり等）について説明した。 <p>(3) 地域役員・実行委員の配置について</p> <ul style="list-style-type: none">・別紙資料「えんとつフェスティバル実行委員タイムテーブル」に基づき、全体の流れを説明。 ・別紙資料「えんとつフェスティバル2014地域役員分担（案）」について説明。 ・12日（日）も雨で中止となった場合は、返却ができない食材を格安で販売する「えんとつ市」を開催する。10時に組合3階の会議室に集合いただきたい。	<p>(2) 意見・要望について</p> <ul style="list-style-type: none">・自衛消防訓練であるが、火災等の発生時において、各自治会への通報や連絡、協議についてどうするのかを以前伺ったが再度伺いたい。 ⇒今回は、訓練であったが、今後、検討していきたいと思う。 ・以前、組合において、爆発事故があった際に、近隣の道路が混雑し、交通整理がで

<主な意見等>

- ・トランポリンを作る予定は。
- ⇒例年どおり予定している。
- ・地域役員の集合時間を確認したい。
- ⇒8時30分をお願いしたい。
- ・土曜日雨天で順延の場合は日曜の役員が減るが。
- ⇒問題はないので、よろしく願いたい。
- ・わたあめ、ポップコーンの分担を決めてもらいたい。
- ⇒基本的に両方お願いしたいが、当日、模擬店担当の実行委員に確認していただきたい。
- ・雨天となった場合の連絡はどうするのか。
- ⇒基本的には、前日までに開催の決定を行う予定であるが、当日に変更があった場合は、連絡をさせていただきます。

(4) その他

- ・実行委員で都合がつく方は、前日の10日（金）午後3時に集合していただき、準備に協力をお願いしたい。

- ・11月から来年3月までの試行として、市内NPO団体の協力を得て、市と共催により、市役所本庁舎1階ロビーにおいて、毎週木曜日に、陶磁器やガラスのコップの回収及び回収した品物の無料配布（リユース）を実施しているので、よろしく願いたい。

③武蔵村山市

- ・10月25日、26日に環境フェスタを日産工場跡地において実施した。同時にデエタラまつりも開催されており、2日間で7万5千人の方に来場いただいた。環境フェスタでは、拾えばまちが好きになる運動として、トングやごみ袋を配布し、会場内のごみの拾いに協力いただいた。また、廃材を利用したコースター作り体験や、バルーンを使って動物の風船作り、フリーマーケットの開催、環境に関するクイズ、使用済み小型家電の回収等を実施した。
- ・10月から、市内2地区計100世帯において、生ごみのたい肥化モデル事業を実施しており、2か月で約1840キロを収集し、生ごみの資源化減量を推進したところであるが、引き続き、実施していく予定であるので、よろしく願いたい。

④衛生組合

(総務課)

- ・組合議会が11月18日（火）に開催されたが、25年度の決算等について審議された。25年度決算は承認いただいたが、地域の方に関連する内容では、えんとつフェスティバル補助金、足湯施設事業費の運営委託料等が認定された。
- ・12月2日（火）に小平消防署の立ち合いの下、組合において、自衛消防訓練（消火訓練、避難誘導訓練、放水訓練、AEDを使用した救護訓練）を実施した。

(業務課)

- ・「平成26年度 焼却施設維持管理状況一覧表」について説明。

(計画課)

- ・東大和市桜が丘の3市共同資源物処理施設整備地域連絡協議会において、化学物質の専門家を講師として招き、来年2月8日（日）午前10時から、組合において、勉強会を開催する予定である。詳細は、市報等に掲載する予定であるので、よろしく願いたい。
- ・12月21日～23日までの3日間、足湯において、ゆず湯を行う予定であるので、利用いただければと思う。また、12月29日から1月3日までは休場するので、よろしく願いたい。

(2) 意見・要望について

- ・自衛消防訓練であるが、火災等の発生時において、各自治会への通報や連絡、協議についてどうするのかを以前伺ったが再度伺いたい。
- ⇒今回は、訓練であったが、今後、検討していきたいと思う。
- ・以前、組合において、爆発事故があった際に、近隣の道路が混雑し、交通整理がで

平成26年度第5回（第96回）連絡協議会

<p>日 時 平成27年2月19日（木）午後7時から午後7時50分まで</p> <p>場 所 小平・村山・大和衛生組合 4・5号炉 3階 大会議室</p> <p>1 田口会長あいさつ</p> <p>2 議題</p> <p>(1) 組織市、衛生組合からの連絡・報告</p> <p>①小平市</p> <ul style="list-style-type: none">・従前から拠点回収していた使用済み小型家電と陶磁器に加えて、雑貨類や紙パックなども回収する取り組みを「リサイクルきゃらばん」と名付けて開催した。本年1月20日（火）に小平市清掃事務所において午後2時から4時までの2時間実施し、陶磁器が730キロ、小型家電が30、5キロ、牛乳パックが13キロ、古布類が26キロ、雑貨類が30キロの回収量であった。今年度は、3月26日（木）にリサイクルセンターにおいて午後1時30分から3時30分までの2時間開催予定であり、詳細は、3月5日の市報で広報する予定である。今回は、未利用食品や廃食油の回収を行う予定であるので、ご利用いただきたい。また、次年度以降も、リサイクルきゃらばんを開催し、拠点回収を実施する予定であるので、よろしく願いたい。 ・リサイクルセンターの整備についてであるが、3市共同資源物処理施設で共同処理を予定している容器包装プラスチックとペットボトル以外の資源化品目について、現在のリサイクルセンターでの施設更新について検討を開始する。来年度については、(仮称)小平市リサイクルセンター整備基本計画を策定の予定である。具体的な施設更新の内容やスケジュール等については、本計画の中で定めて進めていく予定であるので、よろしく願いたい。 <p>②東大和市</p> <ul style="list-style-type: none">・ごみの減量と紙資源の再利用を促進するため、不用になったはがきの回収をごみ対策課を含む市内18か所を回収場所として、本年1月19日（月）から今月末まで実施している。回収量等については、判明次第、報告をしたい。 ・家庭で不要になった食器を回収し、無料でお譲りすることで、再度、使用していただくリユース事業を東大和市役所1階ロビーにおいて、NPO法人の協力を得て、昨年11月から本年3月までの間、毎週木曜日の午前10時から午後3時まで実施しているとこである。利用された市民から好評をいただいており、実施の継続についての要望もことから、本年4月以降も実施していきたいと考えているので、よろしく願いたい。 <p>③武蔵村山市</p> <ul style="list-style-type: none">・現在、不燃ごみとして回収しているライターを、本年4月から、びん・有害物の資源物として、収集の変更を実施する予定である。この変更に伴い、現在、組合へ搬入し、破碎処理されているライターは、武蔵村山市リサイクルセンターで、選別を行い、資源化業者へ引き渡す予定である。なお、資源化の方法については、安全にガスを取り除いた後、金属類はメテリアルリサイクル、プラスチック類はサマールリサイクルをすることとしている。この取り組みによって、資源化の推進を図るとともに、組合への搬入を実施しないことで、処理施設のガスによる爆発のリスクの減少に繋がると考えており、今後ともよろしく願いたい。 ・資源回収奨励金の変更であるが、本年4月から、対象品目のうち、紙類、布類について、現在の1キロ7円から8円に引き上げる予定であり、さらに市民の資源化意識の向上を図りたいと考えているので、よろしく願いたい。 <p>④衛生組合（総務課）</p> <ul style="list-style-type: none">・議会報告であるが、2月18日（水）に組合議会2月定例会が開催され、新年度予算は16億5千万円であるが、地域共生事業（えんとつフェスティバル）の予算、施設見学会、	<ul style="list-style-type: none">足湯管理運営経費などの予算が議決された。（業務課） ・平成26年度焼却施設維持管理状況について説明。（計画課） ・3市共同資源物処理施設生活環境影響調査（現況調査）を今年度から実施する。また、3市共同資源物処理施設整備実施計画策定業務委託、3市共同資源物処理施設発注仕様書作成業務委託、不燃・粗大ごみ処理施設整備基本計画策定業務委託を来年度から実施する予定である。 ・こまねびの足湯であるが、昨年12月に3日間ゆず湯を開催したが、ゆずを寄付いただき、協力的感謝し上げる。 ・こまねびの足湯における灯りまつりであるが、本年度は、小平市人権擁護委員から共同開催との提案を受けており、共催での参加について諮りたい。（結果）了承された。 ・連絡協議会主催の事業であるので、実行委員（代表者）を選出願いたいが、委員会は3月2日、4月13日、5月11日、6月15日、7月6日、21日、27日、7月31日、8月3日の9回、時間は10時から12時で、実施日は8月1日（土）の予定であるかどうか。（結果）選出が難しいため、事務局で対応可能な範囲で出席する。 ・足湯施設運営連絡会を年度内に開催の予定であるが、足湯施設に係る意見要望があれば会議に諮る。（結果）要望なし。 ・足湯施設運営連絡会委員の任期満了に伴い、新たな委員を連絡協議会からお願いすることとなるが、現委員であるごだま自治会の霜出会長、幸町団地自治会の土蔵専任者に留任していただき、幸町6丁目自治会については、現委員の辞退の申し出により、別の方を推薦していただくようお願いしたい。（結果）了承された。
<p>(2) 自治会長・専任者の届出について</p> <p>【事務局】</p> <ul style="list-style-type: none">・連絡協議会の構成メンバーの小平市中島町及び立川市幸町の12自治会において、新年度に役員の変更が行われることに伴い、新たに連絡協議会構成委員となる自治会長及び専任者の名簿の届出をお願いするものである。 ・提出期限は4月末までとし、期限内に選出ができない場合、あるいは役員の変換がない自治会については、事前に連絡をいただきたい。 <p>(3) その他（意見・要望等）</p> <p><質疑等></p> <ul style="list-style-type: none">・以前、連絡協議会の範囲を広げてもらいたいとの東大和市の住民から要望があったと思うが、対応は。 ⇒（小平・村山・大和衛生組合）要望はあったが、現在の連絡協議会については、組合から200m以内の範囲にある小平市中島町の自治会、立川市幸町6丁目及び立川市幸町団地の自治会を構成員とすることで決定した経緯がある。焼却施設の更新の際には、再検討をしたいと考えている。 ・焼却施設の更新が決定した際にとのことだが、いつ頃か。 ⇒（小平・村山・大和衛生組合）現在、組合内で検討しているが、まともり次第、報告したいと考えている。また、来年度は、粗大ごみ処理施設の更新業務に着手する予定である。 ・東大和市桜が丘の協議会の状況は。 ⇒（小平・村山・大和衛生組合）現在、月1回会議を開催しており、3市共同資源物処理施設の姿や環境影響調査について協議している状況であるが、今後丁寧な説明を行い、事業を推進していきたいと考えている。 ・来年度の環境影響調査は東大和市だけなのか。中島町でも行うのか。	